



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!
Chance Change Charge Challenge 2018

由利本荘市立岩城中学校
No. 41
平成30年11月26日

保護者アンケート【記述編Ⅱ】

【A:そう思う B:どちらかというとそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:分からない】
※評点はA=4～E=0、として算出した数値です。2.5程度で普通、3.0以上であれば大いに評価できる数値だと捉えています。

7 教師の多くは、子供の能力や努力を適切・公平に評価しており、通知表は子供の学力や達成度を適切に評価できるよう工夫されている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
7	28.8	63.1	7.2	0.0	0.9	3.2 ↑ (3.1)

・通知表の日常生活の所見で、コメントに誰にでも分け隔てなく接する事ができる大きな長所とありますが、行動の記録の誰に対しても公平な態度で接しているが○だったため…。

＊おっしゃるとおり所見との整合性は確かに大事なところですが、行動の記録の公平・公正の評価は、規準としてより広く深い項目になっているため、上記コメントと同一とは言いがたいところがあるといえます。◎も勿論期待できませんが、○と言うことは満足できるということですが、△であれば整合性はとれていません。ご理解いただけるでしょうか。

・勉強だけでなく、性格や得意なことを取り上げて伸ばそうとしてくれている。

・きちんと評価してくれている。

・私の思いと同じに近いです。

・通知表のコメントから、学校での様子を適切に知ることができた。

＊ご理解ありがとうございます。さらにより方向へと改善していけるよう努力していきます。

8 子供の様子から、学校の雰囲気が良く、子どもたちは生き生きと学校生活を送っていると感じる

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
8	29.7	56.8	10.8	0.9	1.8	3.1 ↓ (3.2)

・学校での授業の様子を耳にすることがありますが、なかなかできなかつたりしたときの声かけが、気になります。

＊よく指導等の一場面を点で捉え、双方の意見・考えが行き違いになることがあります。物事には、そこに至る前があり、後もあります。我々、教師も神様ではないのでちよっと言い過ぎたりすることなどもあると思います。それでも、生徒に寄り添いながら指導しているつもりです。子ども(人間)は、私も多分そうだと思いますが、人に話をするとき、自分の都合のよいように、切り取って点で話をすることがあります。どうしても理解できないときには、いつでも学校においでください。生徒一人一人の心の内面に寄り添いながら生徒指導に努力しております。心の問題においては完璧な対応は出来ないと思いますが、可能な限り多方面・多角的に対応したいと思っています。思春期で心が大きく揺れ動く時期でもあります。家庭・地域のご理解とご協力も必要です。よろしくお願いいたします。

9 子供の様子から、子供は学校へ行くのを楽しみにしているようである

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
9	37.8	48.6	9.0	2.7	1.8	3.2 (3.2)

・友達との話を楽しそうに話してくれる。

・はい…。健康第一！。

＊一人一人の個性に応じて対応していくのは難しいのですが、可能な限り努力していきたいと思っております。

10 教師の多くは、子供のことをよく理解してくれている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
10	27.0	57.7	9.0	2.7	3.6	3.0 ↑ (2.9)

・先生の中には、授業中に勉強の苦手な子どもをばかにするような発言を繰り返す人がいることを聞いています。

・時々先生の話をする、理解してくれていると感じます。

・本当に安心です。(良いことも悪いことも…)

・担任の先生には、良く理解してくれていると思います。

＊大体はご理解いただいているようです。先にも述べた通り、人にはそれぞれ個性があるように、私達学校職員にも個性があります。中学校でも学級担任がいますが、一日のほとんどを学級担任が把握している小学校と違って、一時間一時間担当がかわることがほとんどです。私が担任をしていた頃、曜日によっては朝の会と帰りの会しか自分のクラスに行かない日もありました。それでも学級担任です。学年主任を軸とした学年部の連携、受け持っている各教科や領域及び部活動等の担当との連携また、主な担当はしていないけれどよくみてくれている人達との連携を密にして取り組んでいるつもりです。生徒の普段の様子、アンケート等々アンテナの精度を高め、寄り添いながら指導するようにしています。思春期でもあり、心が大きく揺れ動く時期です。忙しくないといえば嘘になりますが、相談事があれば最優先して応じております。よろしくご理解の程をお願いいたします。何かありましたら億劫がらずに学校へご相談ください。

11 親として、子供の心身の健康について、相談できる教師がいる

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
11	30.6	48.6	12.6	3.6	4.5	3.0 ↑ (2.9)

・三者面談や部活等で、先生と相談が出来る。

＊定期的な面談時だけでなく、困り事があればいつでも学校と相談してください。また、本年度からは月2回、半日はありますがスクールカウンセラーの久保山先生も来てくれています。カウンセラーの久保山先生とは全校生徒が面談を実施できるように取り組んでいます。1,2年生が1回は終わりました。3年生もこれから行う予定です。

12 学校は、いじめなどのない学校づくりに取り組んでおり、子供の間違った考え方や行動について、適切に指導している

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
12	21.6	64.9	4.5	1.8	7.2	2.9 (2.9)

- 先生の言葉使いで「いじめ」をしてもいいのだと子ども達が思うてしまうおそれがあると思います。
- 特に聞こえてこないもので、良く指導していただいていると感じる。
- ※先にも述べましたが、言葉の一端を捉えられても何とも言えません。しかし、非常に心ない言動をする生徒が多くなってきたことは事実です。生徒の指導において、それを阻止するためには、即時対応するために多少厳しい発言になってしまうこともあります。それでも、見逃したり、やさしく身にしめないような指導をすればよいのでしょうか…。指導方法等に悩む日々が続いています。指導の前後、言葉の前後を思いやる心も持ち合わせたいものだなと思っています。私たち教員は、生徒に心ない言動が無ければ厳しい指導はしていません。双方向のコミュニケーションがとれれば誤解は解消できると思いますのでよろしくお願いします。小学校からすると身体は大人に近づく半面、心はまだまだということもあり、心身の成長段階としては一番不安定な時期に当たります。いじめや不登校の問題も大きな課題です。家庭内の状況においてはプライバシーの関係もあり、課題が山積しています。学校では、適宜家庭訪問、面談、校内会議を実施し、外部の機関や民生委員、教育委員会等とも連携し、ケース会議等も開催して対応しています。生徒の普段の様子等から、気になることがありましたら、時間をおかずに、学校へご相談ください。即時対応します。

13 全校武道や黙想、自問清掃(三本柱)を行うことで、子供の心が磨かれている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
13	37.8	56.8	4.5	0.0	0.9	3.3 (3.3)

- 昔、自分もやりましたが、武道、黙想は最近は、あまり静かにすることがなくなっているの、これからも続いてほしい。
- 他校の生徒とは比べものにならないくらい良く磨かれている。
- 毎日の積み重ねが、将来にきっと役立つと思う。
- 学校がきれいなことがすばらしい。黙想も自分でしてみるといろいろ感じる。
- ※本校に、研修者・視察団・来客者の方々が来校した時は、いつも、三本柱に感動していかれます。他校の方々は、自校では絶対まねができませんと口を揃えて言われます。全校武道は圧巻だと思っています。平成8年から自問清掃を始めましたが、その当時の校長先生が平成9年に次のようにいっています。「3分間でも無言で清掃ができれば褒めてあげてください。…」と。おそらく、3分間の無言清掃するだけでも課題が多かったのだと推察されます。今では15分間の自問清掃をほとんどの生徒ができています。伝統の力だと思います。崩すのは簡単ですし、すぐに崩れてしまいます。それでも、生徒会や職員が引き締めてくれています。岩中の伝統を誇りに思っつなげていきたいと思っています。生徒会が評価活動を取り入れたりしながら頑張っています。

14 学校は、将来の進路や職業などについて計画的に指導しており、家庭に対しても進路の情報提供を適切に行っている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
14	18.9	57.7	18.0	2.7	2.7	2.9 ↑ (2.8)

- まだ一年生なので、これからだと思っています。(後期から)
- 今のところ、そういった情報はない。
- 2年生の段階では、あまり実感が無い。
- あまり情報がない気がします。
- これから、受験に向けて、いろんな情報提供をお願いしたいです。
- ※進路学習は1年生から始まっています。本当は、小学校から始まっています。学校として可能な限り情報提供しているつもりです。知りたいことがあれば、どんどん自分から調べてほしいし、質問があれば、学校でも他に掛け合って調べて情報を提供したいと思います。実は、学校で行っている学習も生活も行事も全てがキャリア教育であり、狭い意味でも進路学習です。普段の生活を見直し、振り返り、日々努力し、可能性を広げ、進みたい進路に向かって進む。理想でしょうか…。受験は部活が終わってから…なんて考えると進路がせまくなるケースが多々あります。それでも、遅いということはありません。思い立ったら吉日というか中学生にとっての人生はこれからが長い。

15 学校は、自分の生き方をよく考え、豊かな心をもった子供を育てようとしている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
15	21.6	66.7	10.8	0.0	0.9	3.1 ↑ (3.0)

- LIFEを毎年観ていますが、子どもがいろいろ考えているんだな…と感じる。
- ※本校の総合的な学習の時間「LIFE」でも、一人一人が自分の課題に向かってよく取り組み、発表会では多彩にプレゼンテーションをしています。今年度は、**12月12日(水)の5~6校時**に行います。これも岩中の目玉の一つになっています。キャリア教育進路学習の一環です。是非、都合をつけてご覧になってほしいと思います。

16 学校は、命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
16	22.5	70.3	6.3	0.9	0.0	3.1 ↓ (3.2)

- ※もちろん家庭が最大の基盤ですが、学校としても社会の形成者として必要な資質を養うために努力しています。

17 子供は、生徒会活動に積極的に参加し、自らの手で学校生活を見直し改善しようとしている

No.	A	B	C	D	E	評点 (昨年)
17	24.3	53.2	16.2	0.9	5.4	2.9 (2.9)

- 人前に立つことが苦手なのでしていない。
- 生徒会活動に関しては無関心と本人が言っている。
- 学校祭の頑張りからもそう感じる。(運動会も)特に3年生になると思う。
- 後期、気合いが入っています。
- 子ども同士で話し合いをしているように見うけられた。
- ※生徒会最大のイベントである岩中祭は、今年度も観客動員数が伸びましたし、盛り上がったと感じております。そう感じたのは私だけでしょうか…。ご理解いただいていると理解しています。新生徒会に対するプレッシャーもどんどん大きくなりますが、そのプレッシャーは生徒が成長するチャンスだと思っています。学校祭は生徒はもちろんですが、職員も一丸となって取り組んでいます。まさに「チーム意気」の祭典になっています。多くの方に喜んでいただいているようで嬉しく思います。

